公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスりっと伊崎田			
○保護者評価実施期間	令和7年10月31日	～	令和7年11月20日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	14	（回答者数）	6
○従業者評価実施期間	令和7年12月15日	～	令和7年12月24日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5	（回答者数）	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援の姿勢・関わりの丁寧さ	職員が一人ひとりの子どもの気持ちや特性に寄り添い、その子らしさを大切にした関わりを日々意識して行っています。保護者対応においても、丁寧な説明と相談しやすい雰囲気づくりを心がけ、信頼関係を大切にした支援を積み重ねています。	日々の関わりの中で大切にしている支援の意図や姿勢を、職員間で改めて共有し、言葉として整理していきます。研修や振り返りを通じて共通理解を深め、支援の質を安定的に維持・向上できる体制を強化していきます。
2	子どもが安心して過ごせる療育環境	子どもが「安心して通える」「楽しく過ごせる」ことを大切にし、無理のないペースで活動を行っています。小集団の中で一人ひとりの様子を丁寧に見守り、安心感を持って過ごせる環境づくりを心がけています。	現在行っている療育内容や環境整備を振り返り、成長段階や個々の様子に応じた関わりをより明確にしていきます。職員間で意図を共有しながら、安心して挑戦や成功体験を積める支援を継続していきます。
3	利用者・家庭を支える柔軟な運営体制	家庭の生活リズムや保護者の負担軽減につながる支援を行っています。利用者が安心して継続利用できるよう、安定した運営体制を意識しています。	職員配置や業務の進め方を工夫しながら、現在の支援体制を無理なく継続できるよう調整を行っていきます。家庭支援の視点を大切にし、信頼される事業所運営を維持・強化していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安全を支える支援体制の標準化と強化	送迎時の安全管理を含む日々の支援について、職員それぞれが経験を積み重ねながら対応してきました。その一方で、より安定した支援を継続していくために、確認方法や判断の視点を事業所全体の共通認識として整理し、特に新しく入職する職員にも段階的に共有できる仕組みづくりが求められている段階にあると捉えています。	送迎時の安全確認や見守りのポイントを整理し、事業所としての共通基準を明確化します。研修やOJT、振り返りを通じて職員間の理解を深めるとともに、新人職員にも支援の考え方や対応の基本が無理なく身につく体制を整え、誰が対応しても一定の安全水準と支援の質を保てる体制づくりを進めます。
2	保護者との関わり方における多様なニーズへの対応	保護者との情報共有や関わり方については、家庭ごとに求める形が異なるため、一律の方法では対応しきれない側面があります。より柔軟な関わり方を検討していく段階にあると考えています。	日常的な連絡を基本としつつ、希望や状況に応じた情報提供や関わり方を検討していきます。保護者それぞれのニーズに配慮しながら、安心して相談できる関係づくりを継続していきます。
3			